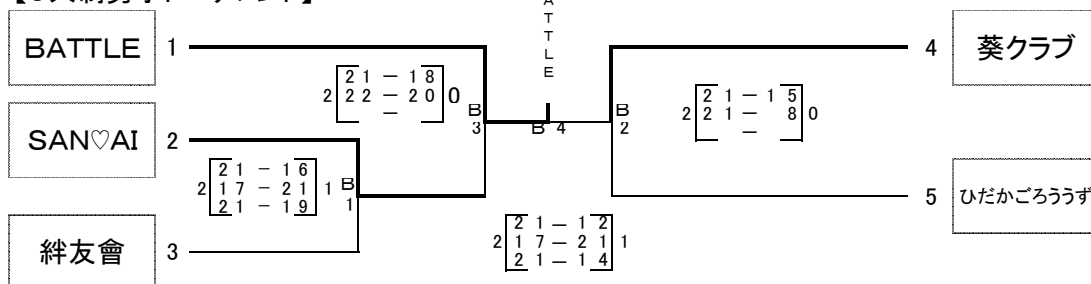


第28回 道央クラブバレーボール連盟 9人制選手権大会

平成22年11月14日
札幌市清田区体育館

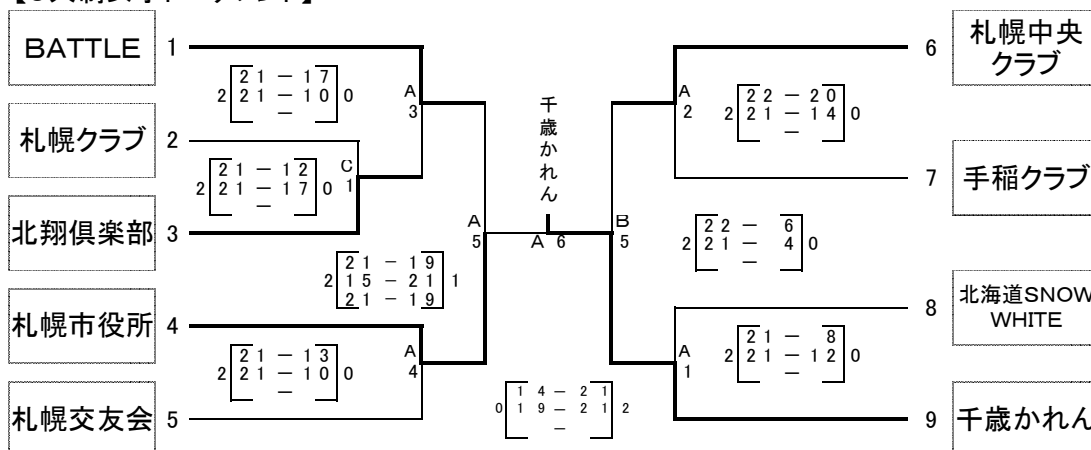
大会会長 吉川 貴盛
大会委員長 石井 吉重
競技委員長 佐藤 充昭
審判委員長 新見 登
総務委員長 津田 良二

【9人制男子トーナメント】



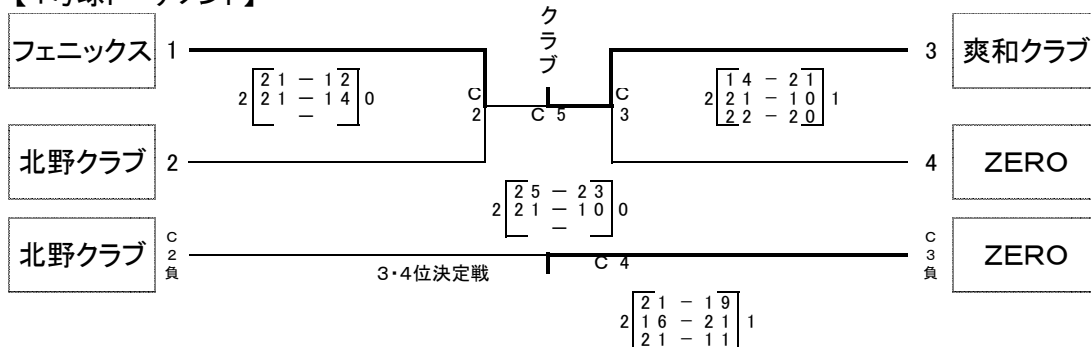
第1セット、序盤から、切り替えの早い攻撃と粘りあるレシーブで葵クラブを攻め、点差を徐々に広げていったBATTLEがこのセットを21-12と先取する。第2セット、葵クラブもサーブと相手のブロックミスを誘う攻撃により序盤からリードを奪う。中盤追いつかれるが、BATTLEも流れをつかめず、葵クラブがリード保ったまま21-17とセットカウントを対とした。第3セット、両チームともに打ち合いから始まるが、中盤よりBATTLEがブロックやコンビ攻撃により徐々にリードを広げ、そのまま逃げ切ったBATTLEが21-14で勝利し、今年度最後の大会を優勝で締めくくった。

【9人制女子トーナメント】



強豪チーム同士の対決となった女子決勝戦の第1セット、序盤は互いに譲らず接戦となるが、次第に千歳かれんは9番別所、4番会田の強打が決まり徐々にリードを広げる。札幌市役所も必死のレシーブで応戦するが、最後まで追いつけず千歳かれんが21-14で先取する。2セット目も1セット同様に互いに一歩も引かず大接戦となる。14-13で迎えた札幌市役所は7番大石のサービスエースでリズムを掴み一気に突き離しを狙うが、対する千歳かれんも簡単にはそれを許さず、逆に一気に攻め込み逆転しこのセットも21-19と連取し3年ぶり5回目の優勝を飾る。

【4号球トーナメント】



第1セットは両チームともエースの打ち合いで終盤まで一進一退の攻防を展開し、一点を争う好ゲームとなった。デュースにまでもつれた結末は爽和クラブが4番橋本のサービスエースで25-23と先取した。第2セット爽和クラブは1セット目の流れのまま得点を重ね10-1とリードする。フェニックスはエース11番上原にボールを集めて応戦したが、流れを変えることが出来ず、一方的な展開で爽和クラブは21-10と連取し、2年ぶり4回目の優勝を飾った。

	優勝	準優勝	3位
男子の部	BATTLE (札幌市) 初優勝	葵クラブ (札幌市)	SAN♡AI (岩見沢市) ひだかごろうず (札幌市)
女子の部	千歳かれん (千歳市) 3年ぶり5回目	札幌市役所 (札幌市)	BATTLE (札幌市) 札幌中央クラブ (札幌市)
4号球の部	爽和クラブ (江別市) 2年ぶり4回目	フェニックス (石狩市)	ZERO (札幌市)